

## フォックストロット課題フィガー

&lt;アンダーラインのあるフットワークは重視しない&gt;

課題	課題フィガー	男子カウント (女子)	フットワーク	特記 事項
1	フェザー・ステップ	SQQ	男子:HT, T, TH 女子:TH, TH, TH	<4小節>
	リバーズ・ターン (フェザー・フィニッシュを含む)	SQQSQQ	男子:HT, T, TH, THT, T, TH 女子:TH, HT, TH, HT, TH, TH	
	スリー・ステップ	SQQ	男子:H, HT, TH 女子:TH, TH, TH	
2	ナチュラル・ターン (1~3歩)	SQQ	男子:HT, T, TH 女子:TH, HT, TH	<4小節>
	オープン・インピタス	SQQ	男子:TH, HT, TH 女子:HT, T, TH	
	ウイーブ・フロム・PP	SQQ	男子:HT, T, T, T, T, T, TH	
		QQQQ	女子:HT, T, T, T, T, TH, TH	
3	エクステンデッド・リバーズ・ウェーブ (1~12歩)	SQQSQQ SQQSQQ	男子:HT, T, TH, TH, T, TH, TH, T, TH, TH, T, TH 女子:TH, HT, TH, H, HT, TH, HT, T, TH, H, HT, TH	<4小節>

## クイックステップ課題フィガー

&lt;アンダーラインのあるフットワークは重視しない&gt;

課題	課題フィガー	男子カウント	フットワーク	特記 事項
1	ナチュラル・ピボット・ターン	SQQSS	男子:HT, T, TH, THT, H 女子:TH, T, TH, HTH, TH	<5+1/2小節> 技術認定 ハイグレード コース3
	ルンバ・クロス	QQS	男子:HT, T, THT 女子:T, T, TH	
	ランニング・ライト・ターン (5~10歩)	SSSQQS	男子:HT, T, TH, T, T, TH 女子:TH, HT, TH, HT, T, TH	
2	ナチュラル・スピン・ターン	SQQSSS	男子:HT, T, TH, THT, HT, TH 女子:TH, T, TH, HT, T, TH	<7小節> 技術認定 ハイグレード コース3
	ヒール・ピボット	SQQ	男子:TH, H, [右足]H+[左足]T 女子:HT, T, TH	
	プログレッシブ・シャッセ・ツー・ライト	SQQSS	男子:HT, T, T, TH, T 女子:TH, T, T, TH, H	
	シックス・クイック・ラン	QQQQQQ	男子:T, T, T, T, T, TH 女子:T, T, T, T, T, TH	
3	ナチュラル・ターン・&バック・ロック	SQQSQQS	男子:HT, T, TH, TH, T, T, TH 女子:TH, T, TH, HT, T, T, TH	<3+1/2小節> 技術認定 ハイグレード コース3
	ランニング・フィニッシュ	SQQ or QQS	男子:T, T, TH 女子:HT, T, TH	

- 課題フィガーの詳細は「標準アマルガメーション[2](技術認定ハイグレードコース)ビデオ クイックステップ編」(ハイグレード3)、「JDSFダンススポーツ教程」のテキスト/ビデオ等を参考にしてください。
- 演技方法は上記の表の規定に従うものとし、フットポジション、男女の位置、ホールドなどフィガーの本質的特長を崩さない範囲であれば、演技方法はテキストと一致していなくてもより効果的と解釈されれば認められます。
- カウント標記:効果的であれば強調や変更は自由ですが、課題フィガー・グループ(課題No.単位)の小節数は厳守してください。
- ソロ競技の演技は、イントロとスローフォックストロット32小節、クイックステップ48小節(選択曲によっては52小節)とします。
- 新審判基準では、曲がかかっている間を演技時間とし、踊る必要のないイントロ部分であってもプレゼンテーション等の評価対象となり、バランスを崩す等の欠点があれば減点の対象となります。
- 一つの課題フィガー・グループ内では、フィガー順番を変えたり、記載以外のフィガーを入れたりすることはできません。
- 上記のサンプルアマルガメーションは、課題1→2→3の順とします。
- 新審判基準ではコリオグラフィーも評価対象になります。課題フィガー・グループ単位の演技順や繋ぎ方は自由であり、繋ぎとして任意のベーシック・フィガーやバリエーションを入れることができます。その課題を含むコリオグラフィーが効果的と認められれば新審判基準では加点されます。
- 「課題フィガー演技申請用紙(選手用)」(St課題フィガー演技申請用紙)により、課題フィガー・グループの演技順と繋ぎの小節数を、主催者の指示する時間までに各自提出してください。(同じ課題フィガー・グループを複数回使用した場合でも1回のみ記入)(申請の際、小節数の記載は4/4拍子としてしてください)
- 当日の演技が申請用紙の予定フィガーと異なった場合、新審判基準では減点される場合があります。
- 新審判基準では、課題フィガーに指定された同一フィガーが複数回使われた場合、申請用紙にて特定されたフィガーのみ課題評価対象となります。

&lt;2009年7月以降のグランプリ競技会は、原則として新審判基準が採用されますのでシラバスに注意してください&gt;